

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail: sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-85 (03)6718-1251
 JR東海品川ビル8F
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

春闘
妥結

標準乗数4の定期昇給・夏季手当2.2箇月



品川駅分会激励訪問

1. 令和4年度新賃金

定期昇給のみ実施する。**標準乗数は4**とする。

2. 令和4年度夏季手当

(1) 支給月数: **2.2箇月分**

(2) 支給日: 6月30日以降準備でき次第

〈2022春闘で得られた主な成果および確認出来た事項〉

- 中央新幹線建設部各・各工事事務所で効率化に資する機器導入の都度対応実施
- 新幹線電気系統指令へ勤務する者への制服(技術服)増貸与
- 現場長用接客制服貸与者への「接客開襟シャツ」貸与
- 運転従事員への花粉防止の防護メガネ着用許可
- 運転従事員の医学適性検査における矯正器具(コンタクトレンズと眼鏡)の併用
- RPAのフローティングライセンスの利用箇所拡大
- インターネット端末の増配備計画(現場を含めたりモーター端末の転用計画)
- 一部本社機関、鉄事・支社の育児休職者に対するポータルサイトの活用(試行)
- 中央新幹線建設に係わる経験者採用(中途採用)の実施
- 社内通信研修の修了試験追加実施(コロナ禍対応)
- Jネット端末のキャビネット容量増対応
- 名古屋セントラル病院でコロナ対応に尽力した社員等へ「慰労金」(1人につき2万円)の支給
- 東海道新幹線を利用した通勤で乗車距離の上限拡大を育児/介護の事情がある本社社員で試行
- 令和4年度における福祉社会レジャー補助の継続
- 一部の中央新幹線工事事務所にタブレット端末配備検討

「未来づくり」への想いを込めたベースアップは2期連続赤字予

ねてきた。

22春闘方針を決定し、2月11日

に申し入れて以降、交渉を積み重

ねてきた。

「未来づくり」への想いを込めた

ベースアップは2期連続赤字予

ねてきた。

22春闘方針を決定し、2月11日

に申し入れて以降、交渉を積み重

ねてきた。

「未来づくり」への想いを込めた

ベースアップは2期連続赤字予

ねてきた。

22春闘方針を決定し、2月11日

に申し入れて以降、交渉を積み重

ねてきた。

「未来づくり」への想いを込めた

ベースアップは2期連続赤字予

ねてきた。

22春闘方針を決定し、2月11日

に申し入れて以降、交渉を積み重

ねてきた。

長引くコロナ禍の影響を強く受けた経営状況下で
制度要求の実現を含めた回答を得る

3月18日、2022春闘生活闘争の第7回団体交渉を行い、「標準乗数4の定期昇給完全実施、夏季手当2.2箇月支給」とする会社回答を引き出した。

「未来づくり春闘」を掲げ、「標準乗数を4とした定期昇給の年度初完全実施」「賃金をはじめ、各種労働条件・制度・福利厚生等の改善を含む総合生活改善の原資として月例賃金2%相当の改善、うちベースアップ1000円」「夏季手当2.2箇月」を柱とする2022春闘方針を決定し、2月11日に申し入れて以降、交渉を積み重ねてきた。

「未来づくり」への想いを込めたベースアップは2期連続赤字予ねてきた。22春闘方針を決定し、2月11日に申し入れて以降、交渉を積み重ねてきた。

想の状況下で実現に至らなかったものの、粘り強く交渉を行ってきた結果、「名古屋セントラル病院におけるコロナ対応慰労金支給」や「東海道新幹線を利用した通勤で乗車距離の上限拡大(試行)」「運転従事員への花粉防止の防護メガネ着用許可」「Jネット端末のキャビネット容量増対応」等の大きな成果を得た。夏季手当については、交渉期間を通じてオミクロン株による第6波の感染が拡大し続けたことに加え、長期化するウクライナ情勢の悪化により、ご利用の回復が大幅に遅れ、赤字幅が急激に拡大する現状において、会社としても組合員の想いを受け止め、懸命に検討した結果出され

た月数であると判断し、組合員の頭張り切った切実な想いを込めた要求月数との乖離が大きいものの、現段階で会社が出し得る最大限の支給月数と認め妥結を決定した。お客様のご利用回復が追いつかず支給月数を積み上げることができなかつたことにに対し、多くの組合員は言葉にならない切実な想いを抱いていると認識している。今後の更なる処遇改善に向け、これまで以上にJR東海ユニオン組合員が「ONEチーム」となり、必ず来る回復期のご利用を高めるため確実に社業と各種施策を推進し、「将来宣言」に基づく建設的な労使関係をベースに、歩みを進めていく。